

70 NEWS

石の素晴らしさをより多く
の方にお届けいたします

皆様、こんにちは！

当社の理念である「石文化の進歩発展に貢献する」の実現に向け、石材業界の発展にお役に立つ情報をお届けするニュースレターの第6弾です!! 全体的にお墓の建立数が少なくなっている昨今、少しでも施主様はじめ、石材店様、販売店様にも喜んで頂ける商品を皆様にお届けさせていただきます。

また、弊社ホームページから、商品の詳細カタログや使い方の動画なども随時UPしておりますので、ぜひご覧ください。

TOPIC 1

施主様との絆作りに…。<PART.1>

私たちがお墓参りに行く際、お参りをした後は心が穏やかになるものですが、行く前は「雑草を抜かないといけない…」とか「掃除をしないといけない…」等、これまで1度でも心の奥底で「面倒だなあ」と感じたことはありませんか。ご先祖様の為にも清掃するのは当然なのですが、反面そのことが原因でお墓参りに行くのに億劫になっているのも事実だと思います。そこで草抜きしなくても良い商品をご紹介します。



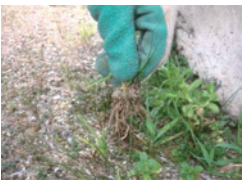
<草無課長(抑草材)>

特徴: 草の発生・成長を抑える土です。
長期間にわたり草を生えにくくする表土被覆材で除草剤ではありません。
自然の風合いの真砂土、高級感あふれる白い寒水石の2種類があり、仕上りも大変美しいのが特徴です。

働き: 主成分は天然のカルシウム化合物です。
主に医薬品(目薬・消毒薬)、工業製品(ガラス繊維・ファインセラミックス)の原料として使われているものです。
カルシウム化合物は水に溶けにくい性質なので、雨や散水により徐々に溶け出して草の生育を抑えます。

施工方法: いたって簡単です。

①除草作業



②下地整正



③1㎡あたり1.5袋で配袋



④敷き均し



⑤散水



メカニズム: ①降雨・散水により草無課長に水が浸透→②カルシウム化合物が徐々に溶けだす→③溶けだした成分が雑草の生育を抑制する→④長期間雑草の生育を抑制し、つらい除草作業から解放される。

実際にご使用頂いているお客様の感想です。

○年々気温が上がって行ってる中、今年は熱中症で1日数台救急車を呼ぶこともありました。
夏の暑い中、草抜き作業で汗をかかなくても良くなりました。(霊園管理様及び施主様の声)

○施主様にとって、お墓参り時の作業が楽になったことで、頻繁にお墓参りにいらっしゃるようになった。
ご先祖様を敬うことが形骸化しなくなるので、導入して良かった。(霊園管理者様の声)

○リフォーム・メンテナンス時において、単価UPにつながる商品だと感じます。(石材店様の声)

ご参考までに…。上記、草無課長は土が固くならない商品ですが、土が固くなるものとして「ガンコマサ」という商品もございます。こちらの商品も自然土の風合いながら雑草も抑える商品になります。

○墓地をコンクリートや石張りで覆ってしまいたくなかったが、五色砂利等では散らばってしまったり、隙間から雑草が生えてきてしまうので、何か良いものがないか石材店に相談したところ、「ガンコマサ」を勧めて頂きました。仕上りにも大変満足しております。
(施主様の声)

TOPIC 2

施主様との絆作りに…。<PART.2>

AKARI(石のローソク立て)

ろうそくやお線香に火を灯す行為は、お墓に眠っておられるご先祖様を呼び起こす行為と言われています。関西地方ではお墓には当たり前についており、西日本においても比較的様々な地域についているのですが、全国で見渡すと地域によっては風習で付いていないところも見受けられます。ローソクの火を風から守るだけでなく、ローソクの火から直接、線香にも点けられる実用的且つ墓石と同じ御影石なので、違和感もなく、半永久的にご使用頂けます。宗派によってローソクは使用しないという考えもあるでしょうが、実際にローソクを使っている地域が多いのも事実です。ローソク立ての風習がない地域の方は、これを機に風習を創り出してみませんか。施主様にとっても、お墓が豪華に見えますので喜ばれるのではないのでしょうか。



TOPIC 3

海外展示会報告

ベローナ展示会情報



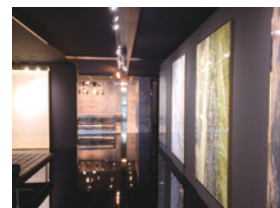
9月28日から10月1日までの4日間、イタリアベローナで開催される世界最大の石材展示会MARMOMACC2016に今年も出展致しました。出展者数は約1500社、来場者数は約68,000人の世界最大規模の石材専門の展示会で、ヨーロッパはもちろん世界中の石材関係者が集まります。ホール数は全部で12あり、石のブース、加工機械のブース、加工工具のブース、中国のブースの4つに分かれています。会場があまりに広いので警備の方はセグウェイで移動しています。

石のブースでは、石自体の展示よりも石のある風景、生活の提案が中心になっています。いかに海外では石のある生活が普通であるのかがよくわかります。日本においても石の機能を、再度見直しをすることで、もっと使えるところがあるのではないかと考えさせられる展示会でした。

また、日本とは違い自動化が大きく進んできており、手での加工や研磨作業が少なくなってきたようです。ドイツの販売店によると、売れ筋商品に変化がみられるとのことでした。右上写真のサイは全て自動機で加工した商品(作品)です。何社かこのような自動加工の機械が展示されていましたから、市場はかなりあるのだと思います。

当社が総代理店をしているアケミも大きなブースで出展していました。東京オリンピックを2020年に迎えるにあたり大理石・人工大理石の使用が増えてくと予想されます。今回フードセーフ(FOOD SAFE)の商品を中心に打合せをさせて頂きましたので、皆様に今後順次ご紹介していきます。

ベローナは町自体が世界遺産に登録されている町です。町の真ん中にはアリーナと呼ばれる円形闘技場がありその周辺に観光名所が固まっています。シェイクスピアの戯曲であるロミオとジュリエットの舞台がこのベローナで、ジュリエットの家が観光名所となっています。毎年開催されていますので、来年は是非イタリアまで足を延ばし、最新の石の情報の収集と同時に観光をしてみたいはいかがでしょうか？



TOPIC 4

石の情報 ~伊予の銘石 大島石~



〈大島石〉

今回紹介する大島石は関西地区では最も使用されている青御影石の1つです。その名の通り、瀬戸内海の「しまなみ海道」が通る愛媛県・大島で採石されています。大島石の丁場は約40か所ありますが、現在では約25か所で採掘されています。

丁場により、石目や色が若干変わり、販売される方の好みにより丁場を選択されることが多いようです。

また、最高級の特級から1級(1等)、などランク分けがされており、予算に応じた石が選択できるのもこの大島石が好まれて使用される要因ではないかと思えます。

大きな石も取れますので、様々な地域でも使用することが出来る石です。

国産材の1つとしてラインナップして頂きたい石の1つです。



藤栄研材工業株式会社

大阪本社 〒578-0944
東部営業所 〒327-0817

大阪府東大阪市若江西新町4-5-25
栃木県佐野市伊勢山町14-10

ウェブサイト
<http://touei.ne.jp>



フェイスブック
<https://www.facebook.com/touei.kenzai/>



商品についてのお問い合わせ・ご注文等は、お近くの石材工具販売店様までお問い合わせください。